

令和元年 第2回定例会

一 般 質 問

[個 人 質 問]

印 西 市 議 会

順 番	議員番号	議 員 名	質問方式
1	10番	櫻 井 正 夫	一問一答
2	8番	玉 木 実	登壇一問一答
3	16番	増 田 葉 子	一問一答
4	4番	松 本 有利子	登壇一問一答
5	5番	伊 藤 真 一	登壇一問一答
6	19番	金 丸 和 史	一問一答
7	13番	海老原 作 一	登壇一問一答
8	20番	山 田 喜代子	登壇一問一答
9	17番	松 尾 榮 子	登壇一問一答
10	3番	藤 江 研 一	一問一答
11	11番	浅 沼 美弥子	一問一答
12	18番	軍 司 俊 紀	登壇一問一答
13	6番	稲 葉 健	一問一答
14	9番	米 井 重 行	登壇一問一答
15	7番	小 川 利 彦	登壇一問一答

質 問 1

質問者 10番 櫻 井 正 夫

1 鳥獣駆除について

- (1) 平成31年1月から令和元年5月迄の被害状況を伺います。
- (2) 囲いわなの設置場所2ヶ所は何処か伺います。
- (3) 成果があったか伺います。
- (4) 電気柵は総延長でどの位張られたか伺います。
- (5) 各地区での捕獲は、地元の皆さんも参画されて共同では出来ないか伺います。

2 交通問題について

- (1) センターライン側面ライン、横断歩道、道路標示がうすく、又消えている個所が多く見られるが、この補修の調査はされているか伺います。

3 松崎地区での市道拡幅計画について

- (1) 松崎地区の南側、八千代市よりになります。田んぼ沿いに50軒程が建ち並んで居ります。側溝もなく、道路も狭く、デコボコです。何か、この道路について計画はあるかお聞きします。

4 一般県道八千代印旛栄自転車道線と印西側とを結ぶ周廻自転車道の計画について

- (1) 平成30年度第4回定例会時に部長の答弁で県に働きかけるとの答弁でしたが、県の担当に聞いていただけたのでしょうか、伺います。
- (2) 西印旛沼の印西市側を整備して、架け替え中の舟戸大橋も来年には開通となります。良いチャンスだと思いますので自転車道の開通を、ぜひ進めてほしいと思いますが、お考えをお聞き致します。

5 県立印旛沼公園となっている師戸城の建設計画について

市として思いをもって取り組んでいく、また県と協議して進めていく考えはないか、お聞き致します。

- (1) 県に働きかける考えはないか、お伺いします。
- (2) 県立印旛沼公園を県立師戸城址公園に変更出来ないかお伺いします。
- (3) 当時はお城と言える迄の建築物でなく、見晴台をかねた建物であったと思いますが、往時を偲べる建造物を築き、観光拠点にしたいが考えを伺います。

6 印旛沼公園下の市有地の活用について

- (1) 4ヘクタールあるので子供達の遊び場、又は広く駐車場に出来ないか伺います。
- (2) 自転車道が出来ると市の保有の土地も生きて地元の農産物、川魚等と特産品の販売、それに自転車の貸し出し、沼での屋形船等も出せる環境になると思いますので、考えをお聞き致します。

質 問 2

質問者 8番 玉 木 実

1 公共施設マネジメントの進捗状況

- (1) 旧小学校3校の跡地利用の促進は
- (2) 「公共施設の今後を考える市民ワークショップ」の開催目的・方向性・参加者の現状は
- (3) 旧高花給食センター跡地の利用促進

2 千葉ニュータウン地域の環境問題

- (1) 学校周りの雑草繁茂対策
- (2) 市内公園の雑草処理対策は
- (3) 特に千葉ニュータウン中央駅周辺の雑草処理対策は

3 千葉ニュータウン中央駅自由通路における喫煙場所は

4 産業振興と観光について

質 問 3

質問者 16番 増 田 葉 子

1 野田市の児童虐待事件を受けて

痛ましい児童虐待の事件が後を絶ちません。野田市の栗原心愛ちゃん虐待死事件は、地理的に近い自治体での事件でもあり、行政、福祉に関わる者の一人として、無力感に打ちのめされた事件でした。周囲も学校も親からの虐待を知らず救えなかった現実を、私たちは重く受け止めなければならぬと思います。市ではこの事件をどのように受け止め、組織連携などにおいてどのような改善をされたのでしょうか。以下、伺います。

- (1) 印西市で、司法的な介入が必要な事例はこれまでにあったのか
- (2) 栗原心愛ちゃんの事件は、教育委員会の対応が焦点となったが、市教育委員会はどのように受け止めたのか
- (3) 事件を受け、市教育委員会では組織的な見直し、または見直しの議論はされたのか
- (4) 事件を受け、国では「教育相談の充実」を掲げているが、印西市の教育相談の状況はどうなっているか
- (5) 事件を受け、印西市子ども虐待防止対策協議会では、見直しまたは見直し議論はされたのか

2 ふれあいバスの見直しはどこまで踏み込むのか

公共交通の問題は、もっとも重要度が高くもっとも満足度が低い、市民にとって非常に関心の高い政策課題です。ふれあいバスについては、市民から寄せられる要望に対応してきた結果、昨年9月定例会では、「1台のバスで1ルートを運行するには距離的に限界に達している」との市長答弁もありました。

今年度は、地域公共交通網形成計画の策定に向けて、ふれあいバスの見直し検討分科会において本格的な議論が始まることと思いますが、「限界に達している」現状をどのように見直していくのか、以下、質問いたします。

- (1) 見直し検討分科会の検討スケジュールはどうなっているか
- (2) そもそも、ふれあいバスを運行する目的は何か
- (3) 見直しにあたって、利用実態やニーズ調査はどのように行われるのか
- (4) 民間路線バスへの補助金も含め、公共バス事業にかかっている経費はどのくらいか

3 UR都市機構事務所跡地の検討の状況について

先ごろ購入したUR都市機構事務所跡地については、保健施設や文化ホールなどの整備方針が示されており、これから検討委員会も設置されると聞いています。検討委員会での議論の方向性について、以下、伺います。

- (1) 検討委員会にはどのような事項が諮問されるのか
- (2) 検討委員会においてニーズ調査はされるのか
- (3) UR都市機構事務所跡地の容積率など物理的要件はどうなっているか
- (4) クリーンセンター、高花給食センター跡地など、周辺の用地も視野に入れた検討はされるのか

質 問 4

質問者 4番 松 本 有 利 子

1 教育現場の評価制度について

- (1) 小中学校の学校評価について
- (2) 幼稚園、保育園、学童クラブの評価制度について

2 子ども発達センターについて

- (1) 施設の改修について

3 市の情報発信について

- (1) 広報いんざいについて
 - ①配布場所の拡大について
 - ②スマートフォン、タブレット用アプリマチイロでの広報いんざいの配信について
- (2) デジタルサイネージについて

4 情報システム部門について

- (1) 印西のシステム部門についての状況
- (2) システム部門の今後の展開について

- 5 図書館利用の利便性向上について
 - (1) 図書館の利用状況について
 - (2) 貸し出し図書の返却について
 - (3) 各駅への図書返却ボックス設置について

- 6 ファミリーサポートについて
 - (1) 現在の状況について
 - (2) 今後の改善点について

- 7 市内小中学校の職員の働き方について
 - (1) 職員の働き方改革について

質 問 5

質問者 5番 伊 藤 真 一

- 1 消費税10%への増税について
消費税10%に引き上げる政府の方針について、印西市政としてどのように対応するのか、その基本姿勢について伺います。
 - (1) 市民への負担について
 - ①市の経済、景気にどのような影響が出ると推測されるのか
 - ②影響を把握するために調査を行う計画はあるのか
 - (2) 2019年度の予算は、消費税増税を前提に決定しているが、増税分として計上されている額は明確になっているのか
 - (3) 今までの消費税増税で、市民の暮らしに多大な負担と犠牲を強いてきた事による市としての行動について
 - ①国に対し意見書を上申する考えはないか
 - ②全国市長会で増税中止のはたらきかけをする考えはないか

- 2 「デマンド型乗り合いタクシー」の実現について
今後の高齢化で交通弱者が増える状況で、地域の暮らしを支える乗り合いタクシー（デマンド交通）は欠かせない施策となっているので質問します。
 - (1) 全国、県内のデマンド交通の実態をどの様に把握しているのか
 - (2) 現在進められている「乗り合いタクシー試乗」の問題点をどのように把握しているのか
 - (3) デマンド交通の実現についての展望はどのように考えているか

3 選挙の投票率アップについて

ここ数年、選挙の投票率が低下している現状について質問します。

- (1) 先の統一地方選挙で、市の投票率42.7%をどのように評価しているか
- (2) 投票率アップの施策をどの様に考えているのか
- (3) 投票率アップの一環として、投票所の移転を行う考えはあるか

質 問 6

質問者 19番 金丸和史

1 企業立地促進条例に関すること

- (1) 第1回定例会の予算常任委員会でも質疑を行ったが、3月末をもって廃止となりその後の企業誘致策はどのように考えているのか
- (2) 雇用促進施策はどのように考えていくのか

2 東京電機大学の跡地に関すること

- (1) 現在の管理はどのようになっているのか
- (2) 担当部署はどこが担うのか
- (3) 今後、印西市として跡地をどのように考えていくのか

3 5月15日国会で可決・成立した「健康保険法等の一部を改正する法律」に関すること

- (1) 市としての対応は、現段階でどのように考えているか

4 平成30年第3回定例会において質問したドクターヘリの運用に関すること

- (1) 印西市内において着陸場所が増える予定はあるのか

5 小倉台小学校の通学路に関すること

- (1) 信号機の要望に対し、市としてどのように考えているのか
- (2) 通学路の安全対策で令和元年度に予算化されているものをどのように進めていく考えか
- (3) 時計の設置は考えていないのか

質 問 7

質問者 13番 海老原 作一

1 市の将来人口とまちづくりについて

平成29年度の推計として国立社会保障・人口問題研究所による日本の将来推計人口が発表された。それは、2015年を出発点とした死亡中位仮定の推計結果である。2015年の国勢調査によれば日本の総人口は1億2709万人であったが、長期の人口減少過程が続き2040年には1億1092万人を経て、2053年には1億人を割って9,924万人となり、2065年には8,808万人になるとの推計である。人口減少・超高齢化に対して国も「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「少子化社会対策大綱」を策定し、かつ、子ども・子育て3法の一部改正をして子ども・子育て支援新制度などの対策を行っている。印西市においては、2025年までは穏やかな人口増が続くが少子高齢化が進み将来的には人口そのものが減少すると見込んでいる。これを踏まえながら各種計画を策定していくものと考えられる。そこで以下の質問をする。

(1) 将来人口の見通しの算出方法について

- ①人口推計をどのような頻度でどのように行っているか
- ②コーホート要因法による人口推計の精度をどう考えているか
- ③人口推計に政策的な要素を加味した想定人口についてどう考えるか

(2) 市の将来人口の見通しについて

- ①市の将来人口に対する認識はどうか
- ②将来人口がピークアウトした後の推計には、人口減少に対する政策的な要素は加味していないという理解でよいか

(3) 将来人口が減少していくことによる影響についての認識はどうか

- ①人口減少していく中で、生産年齢人口割合の減少、高齢者人口割合の増加がもたらす影響についてどう考えるか
- ②負の影響を緩和、または、無くする政策の必要性についてはどうか

(4) 人口減少に対する取り組みについて

- ①空き家・空き地の活用、流通性の向上への取り組みについて
- ②親と子の同居・近居に対する補助制度の導入について
- ③結婚・出産・子育てを包括的に支援する取り組みについて
- ④更なるシティセールスプロモーションへの取り組みについて
- ⑤千葉ニュータウンにおける住宅開発収束後の取り組みについて

2 補助金等の評価結果報告を受けての市の取り組みについて

市は、平成28年度から令和2年度までの5年間を計画期間とした第5次行政改革大綱を策定し、その実施計画において改革項目である歳出経費の抑制の中で補助金等の整理合理化を実施項目としている。これを受けて、印西市補助金等評価委員会がヒアリング評価をして報告書を策定した。そこで以下の質問をする。

- (1) 補助金等評価点数一覧の分類に対する認識はどうか
- (2) 分類Eの公益性、必要性、将来性が低いと評価された補助金等に対する市の対応はどうか
- (3) 印西市補助金等評価委員会が示した共通した意見について、どう認識してどう対応していくのか

質 問 8

質問者 20番 山 田 喜 代 子

1 道路環境の整備について

信号や歩道の未設置、街灯の無い歩道、白線が消えている横断歩道、センターラインが消えている車道、車のすれちがいができない道路、禁止のはずの大型車の運行、等々が市内全域で見られる。

- (1) 現状の把握はどうか
- (2) どう対応してきたか
- (3) 対策をどう考えるか

2 暮らしの中の香料について

私たちの暮らしに欠かせないのが洗剤だ。しかし、その洗剤や柔軟剤、シャンプー、リンス、トイレの芳香剤、文房具等に香料がついており、香料に含まれる化学物質で体調に異変を起こす「化学物質過敏症」で悩んでいる市民がいる。日本消費者連盟は2017年夏、2日間電話相談「香害110番」を実施した。その結果、全国から215件の相談が寄せられ、近隣の洗濯物や職場、学校などで充満する香りで日常生活が送れないほどの苦しい症状を抱える声があふれたとのことだ。化学物質の影響を受けやすいのは大人よりも身体の小さな子どもと言われている。

- (1) 化学物質過敏症についての認識はどうか
- (2) 市民への啓発をどう考えているか

(3) 公共施設、学校、福祉施設などに市民団体の作成したリーフレットを配布する考えはないか

3 保育園生活の保障を

若い世代の入居に伴ない保育園の増設が続く中、園庭の無い保育園も増えている。園庭の無いことが園児の成長にどのような影響があるのだろうか。

(1) 園庭の無い保育園の状況

(2) 園児への影響

(3) 園庭が無いことへの対応・対策をどう考えているか

4 高すぎる国保税を払いやすい国保税に

(1) 国保法第44条は十分に機能しているか

(2) 子どもの数が多いほど負担が多くなる「均等割」の廃止の考えは

(3) 全国知事会が求める「1兆円の公費負担増」についての市長の見解

質 問 9

質問者 17番 松尾 榮子

1 印西市公共交通網形成計画の策定について

自家用車を使わない市民や高齢者、中高生も安心して暮らせるまちづくりに向けて、ふれあいバスの本格的見直しを含む市の地域公共交通網の形成について伺います。

(1) 策定に向けた取り組み状況

(2) 今後のスケジュール

(3) 検討課題の取り込みについて

(4) 市民意見の反映について

2 UR都市再生機構事務用地の活用について

人口が急増している千葉ニュータウン中央駅圏の市民サービス向上プロジェクトとして開始されたUR都市再生機構事務用地の活用について伺います。

(1) 令和元年度の事業方針

(2) 利用計画の検討状況

(3) 今後のスケジュール

3 学校適正配置について

市はこれまで学校適正規模・適正配置基本方針に基づき、永治小学校の木刈小学校への統合、宗像小学校のいには野小学校への統合を実施、また本埜第一小学校と本埜第二小学校を統合しての本埜小学校の開校を実施してきました。残る取組みについて伺います。

- (1) 令和元年度の取組み
 - ①小規模校について
 - ②大規模校について
- (2) 基本方針の見直しについて

4 シティプロモーションについて

活気があり伸び盛りの印西市の魅力を市の内外に発信し、さらに高めていくと共に、市への移住促進、定住促進、交流促進を図る「シティプロモーション」事業について、令和元年度の取組みと今後の展開について伺います。

- (1) 昨年度の評価と反映
- (2) イルミライ★INZAIの実施予定について
- (3) 動画その他の取組みについて
- (4) いんざいふるさとまつりの実施予定について
- (5) 今後の展開について

5 道路の植栽管理について

- (1) 中央駅北側の木刈地区と小倉台地区の間を通る幹線道路のニュータウン北環状線において、中央分離帯や歩道の植栽の雑草が伸び放題になり、自動車通行の妨げや、事故のもとになりかねない状況が見られるが、対応について伺います。

質 問 10

質問者 3番 藤 江 研 一

1 安心・安全なまちづくり

- (1) 市立小中学校体育館・特別教室へのエアコン設置等
 - ①普通教室、特別教室、体育館へのエアコン設置率
 - ②指定避難所のうち市立小中学校の占める割合
 - ③先進自治体の体育館・特別教室へのエアコン設置事例や費用低減が見込める新しい設備の導入可能性などを調査・研究していくべきではないか

- ④普通教室のエアコン故障時の修理は迅速に行えるのか
- (2) 液体ミルクの備蓄
 - ①液体ミルクについて最近の動向（国内生産開始、先進自治体の取り組み、政府指針の改訂方針）は把握しているか
 - ②当市においても液体ミルクの備蓄を行うべきではないか
- (3) 広域避難場所
 - ①広域避難場所3か所の収容能力はそれぞれ何人か
 - ②東京電機大学が広域避難場所に指定されているが、同大学は平成30年3月末に東京都に移転している。移転後も広域避難場所として使用できるのか
 - ③移転後は同大学がキャンパスを他者に売却する等の可能性があるが、その場合どうするのが課題と考える。同大学との協定ではどのように規定されているのか
 - ④同大学が広域避難場所として利用できなくなった場合に、その収容能力はどのようにカバーするのか
 - ⑤広域避難場所変更に関する住民への周知はどのように行うのか
- (4) 災害時のドローンの活用
 - ①昨年6月議会の橋本議員質問に対する総務部長答弁で「先進自治体の活用事例や災害時のドローンによる空撮にご協力いただける事業者との協定締結に向け調査研究してまいりたい」とあるが、その後の調査研究結果はどうか

2 幼児教育・保育の無償化等

- (1) 無償化手続きの円滑な実施
 - ①3～5歳児の無償化対象者数及び0～2歳児の無償化対象者数
 - ②このうち既に幼稚園、認可保育所、認定こども園に入園している人数
 - ③認可外保育施設や幼稚園の預かり保育等は、自治体による保育の必要性の認定が必要。この対象者数、対象者は把握されていると思うが、対象者への周知や認定手続きはどのようになっているか
 - ④来年度以降は、無償化費用の4分の1を市が負担することとされているが、当市における継続実施を確認したい
- (2) 待機児童問題
 - ①認可外保育施設や幼稚園の預かり保育の施設数、定員数の推移
 - ②今後の施設設置見込み、定員増見込み
 - ③待機児童解消に向けた取り組み、市の支援措置
 - ④他市との協力（幼稚園、認可保育所、認定こども園の相互利用）の現状、今後の取り組み

- (3) 保育人材の確保
 - ①印西市の幼稚園、認可保育所、認定こども園に勤務する保育士数の推移
 - ②潜在保育士の再就職支援の現状、課題と取り組み
 - ③印西市の幼稚園、認可保育所、認定こども園に勤務する保育士の処遇改善の取り組み
 - ④印西市独自の保育人材確保に向けた支援措置の検討が必要ではないか
 - ⑤公立保育園の保育士選定はどのようにして決まるのか
 - ⑥5月に実施される派遣会社の入札により保育士を入れ替える必要があり、必要な保育士が確保できないとの意見があるが事実か
- (4) 低出生体重児向け母子手帳
 - ①印西市における取組状況如何
 - ②先進自治体の取り組み等を踏まえて低出生体重児向け母子手帳の採用を行うべきではないか

3 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた企画

- (1) 印西市において現時点で予定している企画内容
- (2) 市民が集い一緒に観戦・応援できる場や在留・訪日外国人との交流の場の提供など夢のある企画を検討してはどうか

質 問 1 1

質問者 11番 浅 沼 美 弥 子

- 1 金山落用水路について
 - (1) 歴史的背景と現状
 - (2) 要望、苦情、相談等があったか
 - (3) 課題についての認識
 - (4) 整備計画の策定など検討する考えはないか
- 2 通学路、幼稚園・保育園の散歩コースの安全対策について
 - (1) 通学路における安全点検と対策
 - (2) 幼稚園・保育園の散歩コースの安全点検と対策

3 農産物等移動販売事業について

- (1) 事業の状況
- (2) 課題
- (3) 事業内容の見直しが必要ではないか

4 市民サービスの向上について

- (1) 「子育てワンストップサービス」の拡充
電子申請サービスに「就労証明書」を追加する考えはないか
- (2) パスポートの申請等を月に1回でも土日可にすることは可能か

質 問 1 2

質問者 18番 軍 司 俊 紀

1 消費税引き上げに伴う印西市の対応について

本年の消費税率引き上げに伴う対応として昨年12月20日、国の経済諮問会議では9つの予算・税制措置等を公表し、その中でマイナンバーカードを活用した消費活性化が提案された。

その後、総務省でマイナンバーカードを利用したプレミアムポイントについて説明会が開催されているが、印西市は今後どのようなスケジュールで対応していくのか。

- (1) マイナンバーカードの市内での発行状況はどうなっているのか
- (2) マイキープラットフォーム運用協議会への参加状況はどうか
- (3) 個人番号カード利用環境整備補助金の申請について、どのような状況か

2 印西市における公共施設等総合管理計画について

印西市では今後の人口減少や更なる高齢化の進展、厳しい財政状況等を見据え、長期的な視点を持って公共施設及びインフラ資産の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的に、「印西市公共施設等総合管理計画」を一昨年3月に策定し、計画の推進を進めていると考えるが、一方で公共施設の再配置や新設に対する要望も多くみられる。以下を問う。

- (1) ファシリティマネジメントについて明文化は行われないか
- (2) 永治小学校跡地等利活用についてサウンディング型市場調査を実施すると周知されている。
 - ①実施要領の公表は充分か

- ②インセンティブについてどのように考えているのか
 - ③庁内の連携体制はどうなっているのか
 - ④平成30年度末に統廃合となった小学校について同様の手法をとるのか
- (3) ふれあい文化館の大規模改修は今年度から計画されているが市民の意見は取り入れられるのか

3 子ども・子育て支援について

- (1) 5月15日に印西市では令和元年7月入園募集への申込みを希望される方を対象とした令和元年5月15日現在の市内認可保育園（公立・私立）・認定こども園・小規模保育事業の空き状況を公表した。
- ①保留児童253名という現状をどのように捉えているのか
 - ②令和2年4月には新規で5園開園予定と聞くが、待機児童はゼロになるのか
- (2) 保育園の散歩コースにおける危険箇所の点検及び安全対策等は図られているのか
- (3) 幼保無償化に向けて市の対応は進んでいるのか
- (4) 学童保育に対して、要望が寄せられるが以下について確認する
- ①小倉台第3学童、牧の原第2学童の設置は進んでいるのか
 - ②夏休み対応は充分か

4 消防の広域化について

千葉県では千葉県消防広域化推進計画を平成30年度末に策定し、公表した。印西市では、栄町との広域化についてどのように考えているのか

5 牧の原駅圏の将来について

- (1) 草深公園の「池の水」が濁み、ゴミもあり汚いという声が届く。池の水を抜いて清掃をすべきではないか
- (2) 牧の原4丁目と5丁目の交差点について、以前から信号の設置要望をあげているが早期設置はできないのか
- (3) 西の原4丁目周辺の道路が暗く、街灯の設置が求められている。市では現状を把握しているのか

質 問 1 3

質問者 6番 稲 葉 健

1 保育の無償化

2019年10月から幼児教育・保育の無償化を全面的に実施することが正式に決定した。

- (1) 正式に国会で決まった案件と今まで予想されていた無償化の範囲等に違いはあったか
- (2) 幼児教育・保育の無償化に向けてのスケジュールについて
- (3) 周知について
- (4) 市の対応について
- (5) 財源について
- (6) 今後の幼児教育・保育の無償化に向けての問題点はあるか

2 聴覚障害のある児童生徒の指導

- (1) 小中学校の実態について
 - ①現在小学校で軽・中度の難聴と思われる児童数を把握しているか
- (2) 聴覚障害のある児童生徒の指導について
 - ①現在の(1)での児童に対しては、通常どのようになっているか
- (3) 先進地について
 - ①近隣での先進地について
- (4) 教育の場の選択についての市の今後の取組について

3 マイナンバーカードについて

政府は、マイナンバーカードを健康保険証として使えるようにすることを盛り込んだ健康保険法などの改正案を決定した。カードの利便性を高めて普及を促すとともに、受診時の本人確認を確実にし、医療保険の不正利用を防ぐ狙い。2021年3月からの施行との事。またマイナンバーカードの利便性についても各自治体等で検討されている。

- (1) 現在の普及率について
- (2) 利便性向上に向けた対策について
- (3) マイナンバーカードを用いた健康保険証の対応について

4 教育現場における児童虐待防止の取組について

近年、児童虐待に関して重大な事件が後を絶たない。今回は教育現場における虐待に対する体制に特化して質問を行う。

- (1) 教育現場における虐待に対するSOSを察知する体制はできているか
- (2) 察知してからの体制はできているか
- (3) 今後の教育現場としての対策について

5 外国人の為の働きやすい（住みやすい）環境づくり

外国人労働者の受け入れ拡大を目的とした新在留資格「特定技能」を盛り込んだ改正出入国管理法が、4月1日に施行された。印西市でも外国人の居住者が増えてくる事が予想される。

- (1) 市内の住民基本台帳に登録されている外国人市民の状況について
- (2) 印西市外国人市民意識調査（平成26年）を受けての市の対応は行われているか
- (3) 今年実施予定の印西市外国人市民意識調査について
- (4) 市として今後外国人が増えていく事に対しての見解について

6 過去の一般質問より

- (1) 平成30年第4回定例会において「JR線と北総線を短時間で結ぶバス等が夜間を通じて頻繁にあれば、おのおのの地区の活性化につながるのでは」と提案した。

その後の検討はされているか

- (2) 大型車両の通行禁止規制の徹底について
- (3) 市街地での自動車の速度制限について
 - ①市街地での速度制限30キロの徹底について
 - ②ゾーン30の取組みについて

質 問 1 4

質問者 9番 米 井 重 行

1 市内の幹線道路の整備状況について

- (1) (仮称)コスモス通り未買収地の取得状況
- (2) 市道00-026号線、船尾地先から戸神地先迄の進捗状況
- (3) 市道00-117号線、船尾地先から松崎地先までの区間の整備状況
- (4) 市道00-031号線、小林小学校から大門地先までの道路整備及び用地の取得状況
- (5) 通学路交通安全対策、浦幡新田地先の工事について

2 市街化調整区域内の開発許可制度について

- (1) 規制緩和集落制度の検討
- (2) 既存集落の規制緩和

3 デキシーの跡地利用

- (1) 今後の市の考え

4 印旛中央地区事業について

- (1) 事業化検討業務の進捗状況

5 地元業者育成

- (1) 災害時の協力体制
- (2) 協力に対する市の考え

6 高齢者の外出支援について

質 問 1 5

質問者 7番 小川利彦

1 公共施設について

市内の公共施設の状況を見ますと、老朽化しており修繕工事が必要な建物が見受けられ、また、地域によっては新たな公共施設が必要であるという地域もあると伺っております。

また、利用者減による再編という話も伺っておりますが、市の計画を含めて今後について伺いたいと思います。

- (1) 公共施設管理計画は絶対的なものなのか
- (2) 閉校となった学校施設について
- (3) 地域の実情把握について
- (4) 今後の公共施設の有り方について

2 公共交通について

ふれあいバスや本埜地区のスワン号の実証運行より半年が経過する状況で、どのような状況となっているか。また、今後の検討課題という部分について伺います。

- (1) ふれあいバス・スワン号の利用状況について
- (2) 周知の対策について
- (3) スワン号の予約方法について
- (4) スワン号の朝夕定時運行からフルデマンドの検討について
- (5) 今後の公共交通政策について

3 農地について

市内の耕作していない農地が多々見受けられる様になり、隣接農地や近隣住民とのトラブルの原因となっている事も伺っており、農地法に基づいて適正に管理される事が良いのですが、農地の管理が出来ない状況となっている現状を自治体として対応することについて伺います。

- (1) 耕作放棄地・遊休農地対策について
- (2) 発送文書の効果について
- (3) 所有者不明の農地の現状について
- (4) 今後の課題について